

第24回令和元年度(2019年度)くまもとアートポリス推進賞募集要項

趣旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市文化並びに建築文化の向上を図るとともに、文化の情報発信地としての熊本を目指して、優秀な建築家やデザイナーの才能・アイデアを結集し、機能面はもとよりデザイン面にも優れた、後世に残る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス」を推進しています。

その一環として、「くまもとアートポリス推進賞」では、建築文化に対する関心を高めるため、平成7年(1995年)から県内各地の優れた建造物等を表彰しています。

表彰対象

概ね5年以内に竣工(改造、改修、修復を含む。)した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等(くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く。)とします。

選考基準

本賞の選考は、建造物等の企画、設計、施工及び施設の利用について、次に示す評価のポイントをもとに総合的に評価します。

評価のポイント

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| ① ②～⑥の評価ポイントがデザインに反映され、優れているもの | ⑤ 地域づくりに寄与しているもの |
| ② 新しい技術的提案や工法の改善が行われているもの | ⑥ 長いスパンのライフサイクルに配慮されているもの |
| ③ ひとや環境に優れた配慮がなされているもの | ⑦ 良好な施工が行われているもの |
| ④ 施設の活用に創意工夫がみられるもの | ⑧ 維持・管理が良好なもの |

賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。
事業主(必要に応じて管理者を含む。)、設計者及び施工者を知事が表彰します。

応募資格

自薦、他薦を問わずどなたでも応募できます。

選考委員(50音順)

青木 淳(青木淳建築計画事務所代表)
大野 郁子(イラストレーター、JAGDA会員)
北野 隆(熊本大学名誉教授)
高橋 晶子(武蔵野美術大学教授、ワークステーション共同主宰)
塚本 由晴(東京工業大学大学院教授、アトリエ・ワン共同主宰)
西嶋 公一(オフィス・ムジカ代表、熊本県文化協会常務理事)
藤本 英行(熊本日日新聞社編集局文化生活部次長兼論説委員)

選考経過

募集	令和元年(2019年) 6月25日(火)～ 9月18日(水)	応募41件
書類選考	10月 7日(月)	
現地審査	10月28日(月)～10月29日(火)	現地審査10件
最終選考	10月29日(火)	推進賞5件、推進賞選賞5件
表彰式	令和2年(2020年) 1月30日(木)	

熊本県土木部建築住宅局建築課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1
Tel.096-333-2537 Fax.096-384-9820

くまもとアートポリス

発行者:熊本県
所属:建築課
発行年度:令和元年度(2019年度)



第24回「くまもとアートポリス推進賞」の選考を終えて

選考委員長 北野 隆

「くまもとアートポリス推進賞」は、「くまもとアートポリス」事業の一環として、質の高い優れた建造物を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と都市環境並びに建築文化等の向上、併せて豊かな地域づくりを図ることを目的に、1995年より行なわれている事業です。

今年度の「くまもとアートポリス推進賞」には、総数41点の応募作品がありました。応募作品の用途は専用住宅、買取型公営団地、病院、幼稚園、公会堂など、建築構造も木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造など、規模も大小さまざまでした。

第1次選考の書類審査は、全作品の事業主・設計者・施工者などを隠した上で、選考委員(7名)が各自の持点(10点)をA(3点)・B(2点)・C(1点)の3段階に分けて評価しました。

各選考委員の評価を集計しますと、作品はやや分散した結果になり、点数の上位から順に討議し、10作品が第2次選考の現地審査作品として選出されました。

現地審査では、設計者へ建築のコンセプトや構造など、事業主には建築の使い方などいろいろな質疑応答がなされました。現地審査では、第1次の書類審査では把握できない周辺環境との調和(敷地の高低差など)、建築空間の取り扱い、建築素材の感触などが体験できました。

「くまもとアートポリス推進賞」の大きな特徴は、事業主・設計者・施工者の三者を表彰するところにあります。質の高い優れた建造物を造るには、三者が一体となって協力することが必要です。

今年度の「くまもとアートポリス推進賞」は、最終的には「推進賞」として次の5点が決まりました。「川尻公会堂」・「Y-HOUSE」・「地獄温泉青風荘.すずめの湯」・「地の舎」・「南阿蘇村買取型災害公営住宅馬立団地」の5作品になりました。

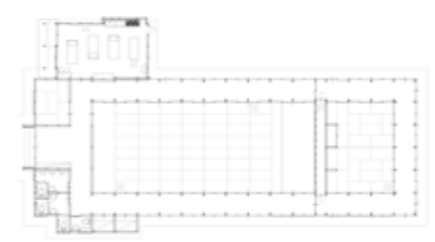
また、「推進賞選賞」として「オモケンパーク」・「西原村買取型災害公営住宅山西団地」・「にしきひみつ基地ミュージアム(錦町立人吉海軍航空基地資料館)」・「滝尾幼稚園」・「いでた平成眼科クリニック」の5作品が選ばれました。

これら10作品については、選考委員の先生方が詳細な講評を述べられていますから、ご覧下さい。

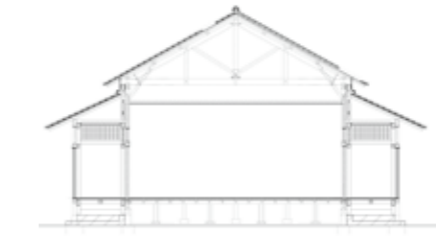
また、これらの10作品について、私なりにそのデザイン手法を分類すると次のようになると思われます。

- 災害復興団地・買取型公営住宅で、入居者のプライバシーを確保しながらも、周囲との関係性にも配慮した配置計画の作品
「南阿蘇村買取型災害公営住宅馬立団地」
「西原村買取型災害公営住宅山西団地」
- 災害復旧建築で以前の建物や敷地に固執しながら、新しい空間を生み出している作品
「地獄温泉青風荘.すずめの湯」
「川尻公会堂」
「オモケンパーク」
「滝尾幼稚園」
- 設計者のはっきりしたデザイン手法による作品
・スキップフロアによって各部屋を上手に組み合わせているもの
「Y-HOUSE」
・外壁の片持ちポリウムで水平性を強調したもの
「いでた平成眼科クリニック」
・四方に開放された中庭を上手に使って全体的に一つの空間にまとめたもの
「地の舎」
・新しい美術館のかたちを提案したもの
「にしきひみつ基地ミュージアム(錦町立人吉海軍航空基地資料館)」

今年度の「くまもとアートポリス推進賞」は、41点という多くの作品が寄せられました。これらの作品で特徴的なことは、「熊本地震」からの復旧・復興に関するものが数多く見られたことです。熊本地震から3年半が過ぎ、益々この傾向が進むと思われ、「くまもとアートポリス推進賞」は、これらの方々に勇気を与えるものと思われまます。



平面図



断面図

くまもとアートポリス推進賞

川尻公会堂

地元の酒造会社の2代目の遺言によって寄贈された、築90年の建物である。熊本市の施設であるが、管理は地域の住民に委ねられてきた。

市によって耐震診断が行われ、耐震性能が低く、安全性を理由に、使用が禁止となった。市からは、解体し施設新築の提案があったが、住民らは新築を望まず、耐震改修を要望したという。

住民からの要望を受け、市から耐震改修案の2案が示されたが、それは大広間を列柱鉄骨や耐震壁で分断する案であった。

住民らは、市からの2案では無く、大広間を現況で残し、周辺の街並みにあった外観を保持するべく、伝統的建築に合った耐震補強の再考を求めた。

それらに沿った検討が進められる間、2016年の熊本地震に見舞われたが、2019年2月に竣工を果たした。

住民からの要望どおり大広間は依然と変わりなく確保され、水回りやバリアフリーの機能面は向上されつつも最小限の変更し、アルミサッシは木建具に戻されるなど、建築当初の姿に近づけて、周辺の街並みとの調和が図られた。

伝統工法の利点が随所に取り入れられ、建築材料も地元はもとより国内で調達されたものである。

住民による自治と関係者の弛まぬ探求の賜物であり、木造・伝統工法を地域で持続する解を示したと言え、このような取り組みが更に広がることを期待する。

(西嶋 公一)

事業主	熊本市南区役所南部まちづくりセンター
設計者	すまい塾古川設計室有限会社
施工者	マコト建設株式会社
所在地	熊本市南区川尻4丁目8番25号
竣工年月	平成31年(2019年)2月
用途	公会堂
構造	木造
階数	地上1階
敷地面積	1,800㎡
建築面積	446.26㎡
延べ面積	430.05㎡



内観写真 / Katsuhiko Hirata

くまもとアートポリス推進賞

Y-HOUSE

都市型極小地における住宅のモデルとなりえる型が提案されている。木造、2階建、田の字平面、片流れの型である。床はスキップしているため、それらをつなぐ階段も床の水平力を伝えるものとして扱われている、と言う。その階段はゆったりと、田の字平面の真ん中に設けられているので、空間感覚としても、床から床への連続感に貢献している。

しかし、この住宅で特筆すべきなのは、そうした型と「趣味」がどのような関係にありえるか、ということにおいて、大きな示唆を与えることである。型とは形式であるから、その形式が実際の空間として生きられたときに、どのくらいのレンジを持ち得るか、その型の価値は判断される。その点、この住宅では、採用された型に、住まい手の強い「趣味」が無理なく、また過不足なく、反映されているのが良い。なかでも、書斎+ロフトとそれ以外のひとつながりの空間は、住まい手の生活感の要請によって、明確に壁によって区画されることになったはずだが、それは田の字のなかの+を成す4つの一を、連続として実現するか、それとも切断として実現するか、その数学的なオン/オフだけで操作することができた、ということがミソである。採用される壁の色の自由、外壁に開けられる窓の多寡と配置における自由、バルコニーなどの突起空間の付加可能性なども、田の字という形式に内在している。つまり、この型自体がもつ特性によって、さまざまな「趣味」に対応できる点で、この型は優れているのである。

(青木 淳)

事業者 匿名(個人)
 設計者 株式会社長野聖二建築設計處
 施工者 有限会社ウエダホーム
 所在地 熊本市中央区
 竣工年月 平成30年(2018年)12月
 用途 専用住宅
 構造 木造
 階数 地上2階
 敷地面積 104.55㎡
 建築面積 58.79㎡
 延べ面積 111.78㎡

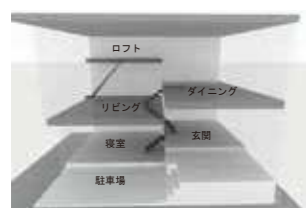


写真 / sara utida

くまもとアートポリス推進賞

地獄温泉青風荘.すずめの湯

現地審査の日、車は曲がりくねった道を奥深く入り、岩肌からは白い湯気と硫黄の匂いが漂ってきた。「地獄温泉青風荘」は近いと感じる。ぶくぶくと自噴する源泉の湯は江戸時代から湯治場としての歴史を刻んできた。

前震、そして二日後の本震では誰もが恐怖と絶望感で天を仰ぎ、明日への糧に途方に暮れた熊本地震。「地獄温泉青風荘」も地震で被災、それに加え数ヶ月後の大雨の土砂で7割の大規模な損壊となる。再建への道を考える中、先人たちの知恵と地から常に湧き上がるエネルギーを再確認し、勇気をもたらったとの施主の言葉。そして出会った設計者と再建の方向性を模索しつつ、少しずつ前へ進んでいる。

まずは今年春に「すずめの湯」を再開し



た。内湯の建物の両サイドに男性、女性用の脱衣所を建設。断熱と災害時のシェルターとの考えからRC構造とし、そこから湯あみ着で内湯を通り、休憩所、混浴の露天へと繋がる。湯船も仕切りを外し大屋根に半分ガラスを使用するなどの改装。伝統を継承しながら利用者の利便性、安全性に考慮した工夫が施されている。

実際、足湯を体感し、そこから見る樹々の移ろいの風情は雄大であり心地よく、歴史ある東屋のどっしりとした趣も、現地に訪れて見なければ感じ得ないことだった。地の力に壊され、地の力にまた勇気をもたらした「地獄温泉青風荘」のこれからの復興再建が待ち望まれる。

(大野 郁子)



事業者 有限会社地獄温泉青風荘.
 設計者 株式会社村田建築設計所
 施工者 熊本利水工業株式会社
 所在地 阿蘇郡南阿蘇村大字河陽字三ノ川12329-1
 竣工年月 平成31年(2019年)3月
 用途 旅館(公衆浴場)
 構造 木造・RC造
 階数 地上1階
 敷地面積 1484.0㎡
 建築面積 140.38㎡
 延べ面積 133.26㎡



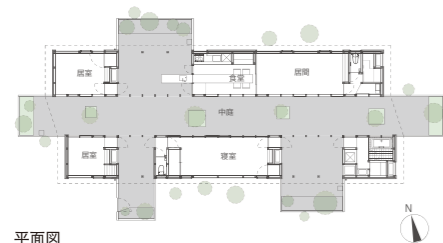
くまもとアートポリス推進賞

地の舎

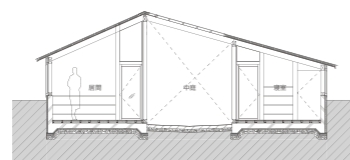
熊本市の郊外住宅地に建つ30代の家族のための住宅(設計者の自邸)。745㎡という敷地の広さもさることながら、建築面積208㎡、延べ面積103㎡という、逆転した建ぺい率・容積率の関係にまずびつくりした。敷地より1m位低い道路側からみると、緩やかな法面の奥に、低く仮設的な印象の屋根がのぞき、納屋が発掘現場のようでもある。アプローチは平坦だが、地面レベルが次第に上がるのでトレンチ状になり、地表を身近に感じる。高さをぎりぎりに抑えた軒下から一步中に入ると、コンクリート床の中庭が伸びている。ここはポリカーボネートの屋根がかかっている思いのほか明るい。敷地と道路の高低差分だけ地面に埋まることでちょうどよい高さの腰壁で囲まれ、風と景色が抜けて開放感がありながらも落ち着く。ユニークな外の部屋(アウトールーム)である。居室群は軒下空間とともに両側に分散配置され、中庭と連続した大屋根の下、家族がお互いの気配を感じながら程よい距離で過ごせる。

たくましさを感じるのは、広い中間領域のなかに住む、地面を身近に感じるという姿勢からくるのだろう。周囲との穏やかな関係を保つ断面操作が秀逸なのと同時に、徹底した素材の限定と納まり、軒下空間のレイアウト、左右で微妙に違った屋根勾配、半間ずらした平面の輪郭など、のびやかな場を感じられる設計が多層になされている。

(高橋 晶子)



平面図



断面図

事業者 匿名(個人)
 設計者 株式会社志垣デザイン店
 施工者 有限会社藪田建設
 所在地 熊本市南区
 竣工年月 令和元年(2019年)9月
 用途 専用住宅
 構造 木造
 階数 地上1階
 敷地面積 745.00㎡
 建築面積 208.26㎡
 延べ面積 102.78㎡



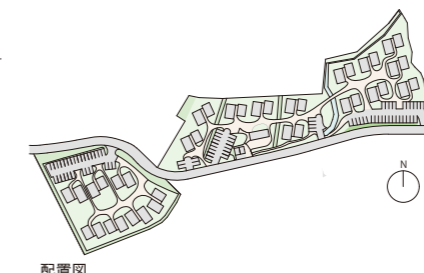
くまもとアートポリス推進賞

南阿蘇村買取型災害公営住宅馬立団地

災害からの復興の一環として公営の集合住宅団地が各地で作られている。その第一の課題は迅速に住まいを失った人々に住居を提供することである。工期を短くするには、建設の効率が優先されねばならない。全国規模で展開している大手の住宅メーカーに頼るのも一つの手だが、その場合「数」の上での復興はできても、地域の建設ネットワークの復興はできない。馬立団地は、地元の林業者、施工者、設計者のネットワークで実現されており、地域のなりわいの復興にも貢献している。計画においても、高低差のある敷地を縫うように走る一本の道に、遊歩道がからみつき、さらにそこに一皮分だけ住戸が取り付く配置は秀逸である。数台ずつ集約された駐車場は道に沿って分散され、宅地よ

り低いので家の内側からは気にならずかつ宅地と道の高低差を吸収するようわずかに勾配がつけられているところなど、多様な配慮がうまく均衡するよう、数センチ単位での調整がなされている。異なる家族構成の世帯が共有する通り抜けてくる土間の提案、高齢者世帯が駐車場に近くなる配慮、瓦屋根の採用など、コミュニティの実情にあわせて心砕いた設計がなされている。そのおかげで40戸の新設住宅が、既存の住宅や小学校を含む地域の風景に溶け込み、年輪を重ねて味わいを深めていけそうな、有機的な生活環境を見事に構築している。以上より、当団地は今後の復興住宅計画のモデルになりうるものとして高く評価される。

(塚本 由晴)



配置図



事業者 南阿蘇村
 設計者 FONS
 大谷一翔建築設計事務所
 堺武治建築事務所
 株式会社坂本達哉建築設計事務所
 Space Lab株式会社
 株式会社長野聖二建築設計處
 深水建築設計事務所
 フジモトユキ設計室
 施工者 新規建設株式会社
 所在地 阿蘇郡南阿蘇村大字立野162番地
 竣工年月 平成31年(2019年)3月
 用途 専用住宅
 構造 木造
 階数 地上1階
 敷地面積 13,768.09㎡
 建築面積 2LDK+1LDK 125.45㎡ 2LDK+2DK 130.82㎡ 2LDK+3LDK 149.47㎡
 延べ面積 2LDK+1LDK 112.20㎡ 2LDK+2DK 117.58㎡ 2LDK+3LDK 136.21㎡



写真 / 八代 哲弥

くまもとアートポリス推進賞選賞

オモケンパーク

熊本地震で被災し解体されたテナントビルの跡地に造られたオープンテラスの交流広場である。

熊本市中央区上通町のアーケードで、間口6m、奥行き30mの土地に建つ鉄骨一部木造の平屋（延べ面積約48㎡）。アーケードに面して大きな開口を設けており、室内にカフェがある。その奥には中庭、屋上には階段状の三つのテラスがあり、イベントなどに活用されている。

二つのビルに挟まれた何の変哲も無い小さな建物。しかし、そこに込められた建て主の思いに注目したい。

通常なら建物を再建するところだが、建て主は「上通の縁側」を造ることを決意する。みんなが気軽に立ち寄れる「私設の公共空間」である。

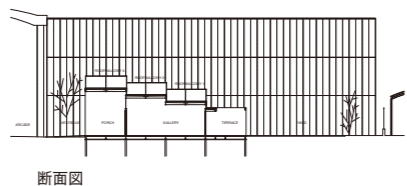
カフェの入り口近くと中庭に樹木をふんだんに使い、昔からあったという井戸も復活させた。見上げれば空が広がる。地震直後、通りの往来が減り、知人の無事を知って抱き合う人の姿を目の当たりにし「みんなにシェアされることで、価値が生まれる空間にしたかった」という。

その狙いが奏功したのだろうか、建物は「誘う」雰囲気を醸している。小規模、低コストにもかかわらず、地震で失われた土地をプラスに変えた好例ではないだろうか。地震からの復興にこのような手法があることも示している。2019年5月の竣工だが、街並みのアクセントとなり、「顔」の一つとなりつつある。

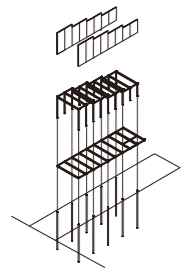
(藤本 英行)



事業者 面木健
 設計者 矢橋徹建築設計事務所
 施工者 有限会社熊本建設
 所在地 熊本市中央区上通町7-7-1
 竣工年月 令和元年(2019年)5月
 用途 多目的広場+飲食店
 構造 鉄骨造+木造(CLT)
 階数 地上1階
 敷地面積 193.69㎡
 建築面積 67.66㎡
 延べ面積 48.37㎡



断面図



くまもとアートポリス推進賞選賞

西原村買取型災害公営住宅山西団地

kumamoto local architects squareを略してkulos。熊本県内の30代から40代の一級建築士11人が結成したグループである。新聞の記事によれば、「お互い学び合う場とするとともに、学生や一般向けの講演会などを開き、建築や設計の面白さを発信していこう」と、2015年に活動を始めたところ、2016年4月の熊本地震に遭遇した。以降、応急危険度判定、建築相談、避難所環境改善の手伝いからはじまり、「西原村小森第2仮設団地みんな家」の設計など、地元建築家として、復興を支援してきた。当建築は、それに含まれるプロジェクトで、今回の設計構成員はそのkulosの9人とエバーフィールド設計JVである。まずは、このような自主的な取り組みが始まり継続していることが素敵である。また、その出来栄も、コツコツと取り組んだからこそ生まれた質を持って

いて、すばらしい。

LDあるいはLDKの両側から和室で挟みつつ、中央の空間が暗くならないようにハイサイドライトで自然光を取り込んだ各住戸のプランニングは、ある程度密度の高いこの団地において、表裏のいずれにも適切な緩衝スペースを設けつつ、快適性をもたらしているということになり、成功している。今後の類似プロジェクトのひとつの雛形になりえるはずだ。また、画一的な風景になりかねないところ、大規模な造成工事を避け、微地形を丁寧に計画することで、その危険から救っている。限られた工費と工期のなかで、豊かな買取型災害公営住宅をつくるという課題に対して投与された能力と時間は大きく、それに見合う報酬がしっかりと支払われる社会になっていくことを願う。

(青木 淳)



平面図



配置図



事業者 西原村
 設計者 エバーフィールド設計
 kulos:大谷一翔建築設計事務所
 株式会社トポスペース建築研究所
 堺武治建築事務所
 株式会社坂本達哉建築設計事務所
 Space Lab株式会社
 株式会社長野聖二建築設計處
 株式会社ライフシャム一級建築士事務所
 深水建築設計事務所
 フジモトミュージック設計室
 施工者 株式会社エバーフィールド
 所在地 阿蘇郡西原村大字鳥子659-1
 竣工年月 平成30年(2018年)8月
 用途 専用住宅
 構造 木造
 階数 地上1階
 敷地面積 約13,200㎡
 建築面積 2LDK 63.76㎡ 3LDK 72.87㎡
 集会所 60.84㎡
 延べ面積 2LDK 61.94㎡ 3LDK 71.05㎡
 集会所 60.84㎡



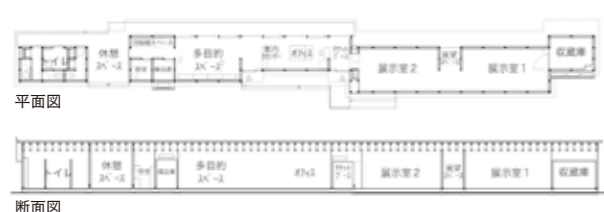
くまもとアートポリス推進賞選賞

にしきひみつ基地ミュージアム (錦町立人吉海軍航空基地資料館)

この新しい美術館は、「フィールドミュージアム」、「エコツーリズム」、「VR」を取り入れた新しい美術館を提案している。特に「フィールドミュージアム」の中心的遺構は、飛行場地区(滑走路跡・戦闘指揮所跡など)、地下工場群(地下機械工場・地下発電機工場-三角兵舎跡など)、地下倉庫群など、トンネル陣地、兵舎居住地区などである。

これらの遺構も現在は文化財の指定はないが、今後は時代と共に重要になると思われる。その為には遺構の作成年代、遺構の調査(図面)などが重要と思われる。

但し、資料館が滑走路内に設けられ、ミュージアムの中心になっているが、むしろ基地遺構を中心にしてもらいたかった。(北野 隆)



事業者 錦町
 設計者 中西ひろむ建築設計事務所
 荻原雅史建築設計事務所
 株式会社いなば
 施工者 球磨郡錦町木上西2-10-7
 所在地 球磨郡錦町木上西2-10-7
 竣工年月 平成30年(2018年)6月
 用途 美術館・フィールドミュージアム拠点
 構造 木造
 階数 地上1階
 敷地面積 6,862.76㎡
 建築面積 171.30㎡
 延べ面積 152.37㎡

くまもとアートポリス推進賞選賞

滝尾幼稚園

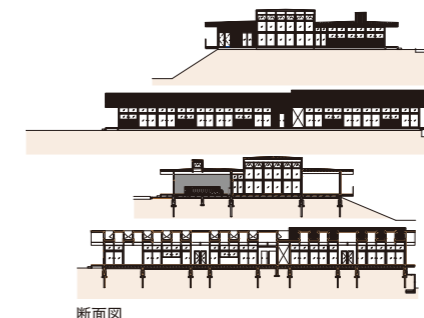
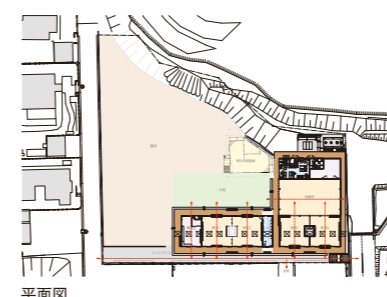
熊本地震で被害を受けた幼稚園の改築。プレハブ仮設を作らない建替計画、崖際の建築リスクを考慮した配置計画としている。東西に長いL字型平面の長手に教室、短手に遊戯室とバックヤードを配し、遊戯室部分は高さを変えている。

復興のさなかで施工者が不足する状況のなか、工期短縮を見込めるシンプルな集成材のストラクチャーを採用。断面105mm×420mmの梁を1365mmピッチで配し、両端を1820mm、南側は垂木を伸ばしてさらに長くはね出させている。このはね出して生まれる深い軒下空間は、縁側として園児の安全な居場所となり、室内環境を穏やかに保つ。教室内の梁架構グリッドの中にはハイサイドライトが設け

られて光と風の道となり、妻面ではフラットな外観にアクセントを与える。東西面がガラスの遊戯室は、雄大な風景と園庭を視覚的につなぐトンネルとして作られ、教室との一体活用も想定した設計である。教室の梁はね出しを遊戯室内まで通し、そこに屋根の応力を伝達し柱を真下に建てない架構はダイナミックだ。

回廊形式の明快なプランニングとシンプルな架構というプロトタイプ的な形式を、立地場所の方位、地形、周辺環境などに合わせ、巧みに着地させている。

(高橋 晶子)



事業者 学校法人玉虫学園
 設計者 田上健一/九州大学+OYA
 施工者 有限会社ウエダホーム
 所在地 上益城郡御船町大字滝尾字上/約6257-9
 竣工年月 令和元年(2019年)7月
 用途 幼稚園
 構造 木造
 階数 地上1階
 敷地面積 3,115.38㎡
 建築面積 875.63㎡
 延べ面積 779.69㎡



写真 / 石井 紀久

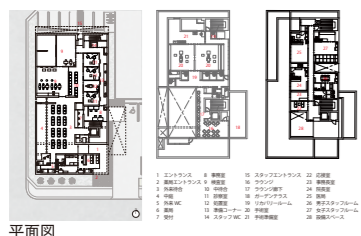
くまもとアートポリス推進賞選賞

いでた平成眼科クリニック

戸建住宅というより、アパートやマンションが多い、日本のどこにでもありそうな街の中で、分厚いコンクリート板が、多少乱雑に積み重ねられたようなこのクリニックは異彩を放っている。周囲は道路と駐車場なので、四周から眺めることができるが、いわゆる窓らしいものや、機械設備が見当たらない。だが内部に入ると十分な明るさが確保されていることに驚かされる。外から分厚いコンクリート板に見えたのは、形が異なるリボン状の外壁で、その

重なり of のずれから光庭や吹き抜けに光を届けつつ、室内や設備バルコニーが外から見えなように視線を遮っている。こうした巧みな断面構成が、斬新な外観と結びついた意外性が高く評価された。だがその明快さは他方で、クリニックで働く人や患者さんには優しく、周囲の街や通りすがりの人々には厳しく接しているようで、やや一方的な主張に感じられもするのだった。

(塚本 由晴)



平面図



断面図



事業者 いでた平成眼科クリニック
 設計者 株式会社松山建築設計室
 施工者 松尾建設株式会社熊本支店
 所在地 熊本市南区馬渡1丁目14番25号
 竣工年月 令和元年(2019年)7月
 用途 診療所
 構造 鉄筋コンクリート造
 階数 地上3階
 敷地面積 1,327.28㎡
 建築面積 590.11㎡
 延べ面積 1,144.87㎡

くまもとアートポリス推進賞 熊本市内中心部マップ



- | | | |
|---|--|---|
| <p>第1回 1995年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 4 株式会社野田市兵衛商店流通団地営業所 7 出田眼科病院 <p>第2回 1996年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 9 社会福祉法人 慈愛園ノーマンホーム <p>第4回 1998年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 22 古閑邸 23 聖母の丘 <p>第5回 1999年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 25 シルフ・エッセ 30 宮崎耳鼻科 31 矢野邸 <p>第6回 2000年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 35 ネクステージビル 37 セカンドサイト <p>第7回 2001年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 40 K.Residence 42 稗田の舎 45 キューネット社員寮「希翔館」 <p>第8回 2002年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 46 久野邸 47 立田山野外保育センター「雑草の森」 48 いのうえデンタルクリニック <p>第9回 2003年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 51 熊本保健科学大学 53 熊本市現代美術館 54 UEDA.Residence <p>第10回 2004年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 57 田迎の家 58 東海大学付属第二高等学校 | <p>2005年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 59 k-house in 近見 <p>2006年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 69 "B"-studio 70 永田歯科 <p>2007年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 72 熊本学園大学14号館(60周年記念会館) 73 城下町の住宅 76 Al mall 77 コンパスポイント本社ビル <p>2008年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 79 B-house in 島崎 81 Chro-e#01(クローイ#01) 82 ガーデンコートゆうかり 85 済生会熊本病院外来がん治療センター <p>2009年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 88 川上酒店 89 i-CUBE#01(アイキュー#01) 91 桜木の家 94 熊本市下通2・3・4番街アーケード <p>2010年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 95 道と暮らす家 97 C-HOUSE <p>2011年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 101 熊本市医師会館・看護専門学校 103 宮原邸 105 I-apartment 108 Shipな家 <p>2012年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 110 行徳眼科 | <p>2013年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 118 器季家カフェ 119 小規模多機能型居宅介護ハイマートの郷 120 ユウハウス <p>2014年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 121 大江の舎/親誼書房 122 T邸 125 坪井の家 <p>2015年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 127 沼山津の家 128 House F, nagamine 129 熊本市西区役所 <p>2016年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 130 B-house in 島崎 131 京町の家 132 33°46'48" 133 済生会熊本病院外来がん治療センター 134 第一幼稚園 <p>2017年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 135 熊本県民テレビ新社屋 <p>2018年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 136 錦ヶ丘の家 137 川尻の町家 138 MU-HOUSE <p>2019年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 139 Y-HOUSE 140 オモケンパーク 141 いでた平成眼科クリニック |
|---|--|---|

くまもとアートポリス推進賞 県内マップ

第1回 1995年度

- 1 小国町立西里小学校
- 2 東陽村石匠館
- 3 八代広域行政事務組合消防本部庁舎
- 4 株式会社野田市兵衛商店流通団地営業所*
- 5 清和物産館(四季のふるさと)
- 6 荒瀬ダムポートハウス
- 7 出田眼科病院*
- 8 尚玄山荘

第2回 1996年度

- 9 社会福祉法人 慈愛園ノーマンホーム*
- 10 阿蘇白水温泉「瑠璃」
- 11 ふるさとセンターY・BOX

第3回 1997年度

- 12 久連子古代の里
- 13 養護老人ホーム八代市立保寿寮
- 14 水俣市営洗切団地
- 15 丸尾焼工房
- 16 人吉の写II/平井邸
- 17 浮島周辺水辺公園

第4回 1998年度

- 18 老人保健施設 かがみ苑
- 19 熊本県信用保証協会八代支所
- 20 HOUSE:H-M
- 21 水俣市保健センター・水俣市総合もやし直しセンター
- 22 古閑邸*
- 23 聖母の丘*
- 24 宮原町下宮はまどん公園

第5回 1999年度

- 25 水上村立湯山小学校
- 26 中央町総合交流ターミナル「石段の里 佐俣の湯」
- 27 植柳新町公民館(地域学習センター)
- 28 シルワ・エッセ*
- 29 50M-棟の森美術館
- 30 宮崎耳鼻科*
- 31 矢野邸*

第6回 2000年度

- 32 やつしろハーモニーホール
- 33 城南の舎
- 34 中央町福祉保健センター「湯の香苑」
- 35 ネクステージビル*
- 36 熊本YMCA 阿蘇キャンプメインホール
- 37 セカンドサイト*
- 38 霧の斎場

第7回 2001年度

- 39 在原九州
- 40 K.Residence*
- 41 つなぎ美術館
- 42 稗田の舎*
- 43 ガレリアのある舎
- 44 chase
- 45 キューネット社員寮「希翔館」*

第8回 2002年度

- 46 久野邸*
- 47 立田山野外保育センター「雑草の森」*
- 48 八代の町屋
- 49 いのうえデンタルクリニック*
- 50 大野温泉センター

第9回 2003年度

- 51 熊本保健科学大学*
- 52 I-HOUSE
- 53 熊本市現代美術館*
- 54 UEDA.Residence*

第10回 2004年度

- 55 九州新幹線 新水俣駅
- 56 S.W.H
- 57 田迎の家*
- 58 東海大学付属第二高等学校*
- 59 ひだまりのまち B4

第11回 2005年度

- 60 k-house in 近見*
- 61 高瀬蔵

第12回 2006年度

- 62 3 Towers
- 63 美里町立中央小学校体育館
- 64 玉名温泉つかさの湯
- 65 堀田眼科医局

第13回 2007年度

- 66 阿蘇の舎
- 67 nina Dental Clinic
- 68 西の久保公園
- 69 "B"-studio*
- 70 永田歯科*

第14回 2008年度

- 71 H-court
- 72 熊本学園大学14号館(60周年記念会館)*
- 73 城下町の住宅*
- 74 多良木町交流館石倉
- 75 グリーンツイードアンドカンパニアアジアエンジニアリングセンター
- 76 AI mall*
- 77 コンパスポイント本社ビル*

第15回 2009年度

- 78 障害者多機能型施設 高森寮
- 79 B-house in 島崎*
- 80 ジャンブルジムの家
- 81 Chro-e#01(クローイ#01)*
- 82 ガーデンコートゆうかり*
- 83 松木運輸株式会社
- 84 しらさぎおざや
- 85 済生会熊本病院外来がん治療センター*
- 86 barn renovation

第16回 2010年度

- 87 畑の中の一軒家
- 88 川上酒店*
- 89 i-CUBE#01(アイキューブ#01)*
- 90 光の森の住宅
- 91 桜木の家*
- 92 R-House in 梶尾
- 93 YMCA赤水保育園
- 94 熊本市下通2・3・4番街アーケード*

第17回 2011年度

- 95 道と暮らしの家*
- 96 天草文化交流館
- 97 C-HOUSE*
- 98 芦北町立佐敷小学校
- 99 百年遺伝子の門
- 100 T-house in 高森

第18回 2012年度

- 101 熊本市医師会館・看護専門学校*
- 102 高瀬
- 103 宮原邸*
- 104 嘉島の家
- 105 田園住宅(篠崎邸)
- 106 I-apartment*
- 107 松の湯
- 108 矢部の家
- 109 Shipの家*
- 110 行徳眼科*
- 111 八代の家
- 112 護岸の家
- 113 器季家カフェ*
- 114 阿蘇くまもと空港国内線ターミナルビル
- 115 小規模多機能型居宅介護ハイマートの郷*
- 116 ユウハウス*
- 117 House-Sim
- 118 ±5° SEPPAN BOX

第19回 2013年度

- 119 大江の舎/親誼書房*
- 120 T邸*
- 121 風と共に
- 122 中九州クボタ本社・物流センター
- 123 南阿蘇原眼科
- 124 光影Archive/長洲の家
- 125 坪井の家*
- 126 渡邊総合内科クリニック/高森わたなべ薬局

● 推進賞 ○ 推進賞選賞 ※の施設は熊本市内中心部マップ (P12)

第20回 2014年度

- 127 沼山津の家*
- 128 House F, nagamine*
- 129 湯浦温泉センター
- 130 MA-HOUSE
- 131 供養普請の家(佐藤忠商店)
- 132 古代の風 黒の蔵-多良木町埋蔵文化財等センター-
- 133 熊本市西区役所*
- 134 旅館 心乃間間

第21回 2015年度

- 135 Leeこどもクリニック
- 136 千丁の家
- 137 京町の家*
- 138 T.house in 武蔵塚
- 139 33' 46' 48"*
- 140 玉東町の家
- 141 第一幼稚園*
- 142 南阿蘇の小さな診療所
- 143 葉味筆筒の家

第22回 2017年度

- 144 わかたけ保育園
- 145 再春館製菓所体育館サクラリーナ
- 146 SA-HOUSE
- 147 GALLERY FLOWER GARDEN
- 148 熊本県民テレビ新社屋*

第23回 2018年度

- 149 錦ヶ丘の家*
- 150 合志マンガミュージアム
- 151 川尻の町家*
- 152 MU-HOUSE*
- 153 尚綱大学短期大学部附属こども園
- 154 園田教材社
- 155 町営住宅倉原団地

第24回 2019年度

- 156 川尻公会堂
- 157 Y-HOUSE*
- 158 地獄温泉青風荘.すずめの湯
- 159 地の舎
- 160 南阿蘇村買取型災害公営住宅馬立団地
- 161 オモケンパーク*
- 162 西原村買取型災害公営住宅山西団地
- 163 にしきみつ基地ミュージアム(錦町立人吉海軍航空基地資料館)
- 164 滝尾幼稚園
- 165 いてた平成眼科クリニック*

